



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2023. **12**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 396

- 国際会長：Urlik Lauridsen [デンマーク] 輝かそう、あなたの光を
Let Your Light Shine
- アジア太平洋地域会長：利根川 恵子 [東日本区川越] 変革のための光となろう
Be the light for change
- 西日本区理事：深谷 聡 [名古屋クラブ] 未来に灯そう希望の光り
Let's illuminate the light of for the future
- 九州部部长：中西 賢一 [熊本クラブ] 今こそ動き出そう 九州から風を



未来の子どもたちの育成のために鹿児島YMCAと共に行動をおこそう！

鹿児島クラブ会長 徳田 穰

第14回鹿児島YMCA国際チャリティーラン報告

鹿児島クラブ 中堀 清哲

12月2日(土)、午前9時半より鹿児島市中山のふれあいスポーツランドにて、「第14回鹿児島YMCA国際チャリティーラン」が開催されました。今年は屋内運動場での開催で雨天や寒さの心配もなく、素晴らしい環境での開催となりました。このイベントは障害のある子供たちもそうでない子供たちとともに幸せに生きていける社会を目指して開催され、寄付金はYMCA「子供たちの為の特別支援プログラム」に活かされます。今年は21チーム、約150名もの参加者がありました。熊本からは中西九州部部长(熊本にし)、東菜保子九州部会計(熊本五福)、木本博章九州部事務局長(熊本にし)、橋本九州部書記(熊本にし)の各ワイズがご参加くださいました。鹿児島クラブからは徳田会長、松若ワイズ、山口ワイズ、私の4人がボランティアで出席しました。私も熊本のワイズメンズチームのメンバーとして、200メートル走を4本走りました。速さを競うわけではありませんから楽しく走りました。サッカーJリーグの鹿児島ユナイテッドの事務局やスタッフの皆さんは2部リーグ昇格への大一番を直前にしながらもご参加いただき、ウォーキングサッカーという子供から大人まで一緒に楽しめるサッカーをご紹介くださったりしてくださいました。本当に楽しい初冬の土曜日のひとときで、良い汗をかきました。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



未来の子どもたちの育成のために鹿児島YMCAと共に行動をおこそう！

11月例会は日本YMCA同盟主事の杉野歌子さんに「ビジョン2030」についてリモートによる卓話をしていただきました。「ビジョン2030」は、昨年7月第20回世界YMCAで採択されたビジョンで全世界のYMCAの行動計画を示したものです。SDGsとも連動し、2030年までに世界を変革することを目指すものだそうです。「ビジョン2030」がどういうものかは漠然とは理解していませんでした。しかし、そのことが日本の各YMCAにどのように関係してくるのか良く理解できていませんでしたが、杉野さんの話で良くわかりました。杉野さんがお忙しい中、快く引き受けていただき心から感謝申し上げます。

早いもので会長に就任してもう6ヶ月が経ち、12月で前期が終わることになります。そこで、前期の活動を振り返って総括し、来年1月から始まる後期の活動に活かして参りたいと思います。

前期で2～3回の卓話を入れることを計画していましたが、それは達成できたようです。9月例会で食事(和食)のマナーについて岩下淳子さんに、10月例会で「アクティブシニアのチャレンジ」という講演題目で新内俊昭さんに、11月例会でリモートでしたが、「ビジョン2030」という講演題目で日本YMCA同盟主事杉野歌子さんに卓話していただきました。会員の皆様から面白かった、勉強になった、これからのワイズメンズクラブや鹿児島YMCAの活動を考えていく上で大いに参考になった等の感想があり、大変良かったと思えました。また、鹿児島YMCAと一緒にいった11月12日(日)の鹿児島谷山港横の谷山ヘリポートの清掃活動、12月2日(土)の第14回鹿児島YMCA国際チャリティラン2023は、天気にも恵まれ怪我や事故もなく無事に終わることができ大変嬉しく思いました。チャリティランには、九州部部長の中西さん、書記の橋本さん、会計の東さん、事務局長の木本さんがはるばる熊本からおいでいただき心から感謝申し上げます。

前期で一番嬉しかったことは、卓話をいただいた新内俊昭さんが、11月例会に出席していただき、来年の1月から会員になってもよいと意思表示をしていただいたことでした。このことを契機に目標の3名増員を是非実現したいと思っておりますので皆様のご協力をお願い致します。来年も皆様が良い年を迎えることができますよう心からお祈り致します。



未来に灯そう希望の光り
Let's illuminate the light of for the future

いよいよクリスマスです。2023年もあと僅かとなりました。

子供の頃はクリスマスの意味も分かっていませんでした。クリスマスとなると何故か、よそ行きの服を着せられ教会に行かされる。25日の朝は目を覚ますとクリスマスツリーにプレゼントが置いてある。プレゼント happy! これが自分のクリスマスでした。

イブ礼拝はキャンドルサービスです。子供の頃はそれだけで感激でした。手持ちのキャンドルに火が灯されると髪の毛に火をつけて騒いだりと自分の悪行から司祭に礼拝堂からつまみ出され、司祭からしっかりとクリスマスでのキャンドルサービスについてお教を頂いた事を思い出します。クリスマスは救世主イエスキリストの生誕日です。私達は聖壇に灯した希望の火を手渡された小さなキャンドルに繋げ、イエスの誕生の喜びや希望を隣人に伝え、大きな光にして、世の中の暗闇照らすもの。

私達の活動はこの言葉を実践しています。『隣人に寄り添う』この精神を軸に喜びを持って奉仕をさせて頂く。この9月より皆様の部会に参加をさせて頂き強く感じる事ができました。地球上では戦争や天災等では計り知れない悲しみや、苦しみを弱い立場の人が受けなくてはならないのか・・・

先日の人質解放の報道を見ながら目に涙が浮かびました。解放されるまでどんなにか辛い日々を送っていたのか想像すらできません。

神様 今現場に来て苦しみの中にいる仲間を助けて下さい。心から全ての神に祈ります。

平和を熱望するワイズメンだからこそ、私達の出来る御業を継続して参りましょう。我等の愛に満ち溢れた活動は社会を平和に出来ると信じます。

私達は国籍、ジェンダー、宗教に囚われない団体です。

社会がよりワイズメンクラブ&YMCA を認めて頂ける様に、世界の仲間とクリスマスを迎えるに当たり、平安な世界が与えられる様に進んで参りましょう。

11月定例会報告

鹿児島クラブ 松永 英明

11月定例会は、日本YMCA同盟の杉野歌子主事をお迎えしまして「Vision2030」と題して講話をしていただきました。世界のYMCAは、120の国と地域に約6000万人が参加しています。日本YMCA同盟は、全国35都市、200を超える拠点で14万人が参加し、社会課題の解決のためのさまざまな活動を行っています。1844年にロンドンでYMCAが誕生し、日本には1880年に東京に誕生、それから129年後の2009年に鹿児島YMCAが誕生しました。

今回のテーマである「Vision2030」は昨年の第20回世界YMCA大会で選ばれました。「Vision2030」は、「コミュニティーウェルビーイング」・「やりがいのある仕事と雇用環境の創造」・「持続可能な地球のために」・「公正な世界の実現のために」が運動を広げる4つの柱と12の戦略目標で構成されています。「一人ひとりが自分自身と、社会と、そして被造物と調和し、生きることができる世界」をビジョンとし、「公正で持続可能であり、公平インクルーシブな世界を築き、すべての人が精神、心、身体の面で成長できるように、世界中の若者とコミュニティーをエンパワーメントする」ミッションを実現するために、「Vision2030」にそってYMCA運動を進めていきましょう。ワイズメンズクラブの活動においてもこのビジョン、ミッションを念頭に置きなが進めていければと思います。

鹿児島から世界のYMCAにつながる一人として、私たちの今現在の働きと「Vision2030」のつながりを考えてみましょう。

11 November 定例会報告

日時：令和5年11月28日(火) 19:00～20:30
場所：鹿児島市国際交流センター
出席者：13名
司会者：松永

11月例会の記録

クラブ在籍者	10名
出席者	9名
メネット	0名
コメット	1名
ゲスト	2名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
11月出席率	120%

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今月の樹

ドラセナ(幸福の樹)



観葉植物で「幸せの木」「幸福の木」と呼ばれているのは、ドラセナの有名品種「ドラセナ・マッサンゲアナ」です。キジカクシ科ドラセナ属。ハワイでは「玄関に飾ると幸福が舞い込んでくる」という言い伝えがあります。ドラセナは種類が豊富で葉姿が美しく、縁起がよいうえに初心者にも育てやすいため、人気が高い観葉植物です。



今月の聖句

主があなたたちを祝福し、あなたたちを守られるように。

(民6:24)



鹿児島ワイズメンズクラブ
WEBサイトはこちら▶



第14回鹿児島YMCA国際チャリティラン開催

12月2日(土) 鹿児島ふれあいスポーツランド・屋内運動場にて開催しました。ワイズメンズクラブ九州部の皆様始め、鹿児島県内の企業のみなさま、そしてチアダンススクールのこどもたちや保護者、総勢186名の参加がありました。屋内運動場ということで、天候にも左右されることなく、参加の皆様も距離が短い分近くで応援できみんなで行き先まで取り組んでいる感じが実感できてよかったという声を頂きました。ブラインドランナーズさんによる、ブラインドラン体験では「視界を遮られるだけでこんなにも怖く、不安に感じるとは思わなかった」「声掛けに工夫が必要だとわかった」など実際に体感してもらうことで理解を深めてもらうきっかけとなりました。リレーマラソンの後には、鹿児島ユナイテッドFCによるウォーキングサッカー体験もあり、年齢等問わず取り組めるレクリエーションで最後は大盛り上がるの時間でした。

鹿児島ワイズメンズクラブの皆様も早朝よりご協力いただきありがとうございました。



鹿児島YMCA 大平 さやか